

川内殉教祭の盛り上げを誓う

10月の定例司祭集会



十月十日(火) 教区本部で開かれた定例司祭集会では、郡山健次郎司教のローマでの研修報告と叙階から一年を経過した終身助祭の活動報告があったほか、十一月十九日(日)の「川内殉教祭」を教区を挙げて盛り上げ、来年秋に列福式の可能性がある「ペトロ岐部と二八七殉教者」に加えられる薩摩の殉教者に対する意識を高めようという司祭団の意見の一致があった。

一六〇八年十一月十七日、信仰を捨てなかつた罪で見せしめのために平佐(薩摩川内市)で斬首刑に処せられ殉教したレオ税所七右衛門教皇は「薩摩の殉教者」と称えられている。日本司教団は、一九八二年十二月一日、レオ七右衛門の殉教と同じ頃(一六〇三年〜三九年)の三十六年間に個人、または集団で



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間共1100円

道標



人 德之島の先生 池上聖行さん

德之島の顔、生き字引・池上聖行さん(八十四歳)。高齢にもかかわらず朝、誰よりも早く聖堂で祈り、ミサに参列し、また母国教会の庭の掃除や木々の枝払いしてくれる。その池上さんはかつて伝道士として働き、沖永良部の杉山伝道士と共に戦後の宣教師の中で重要な位置を占めている。

オーバン神父との出会いがきっかけで一九五一年に名瀬で受洗した池上さんは、早速島に戻って伝道士として活動。その後レデンブートル会のミヤマヤ神父と出会い、德之島宣教師の導き手



となった。德之島に建てられた数々の教会の敷地交渉を担当した池上さんはまた司祭不在の折りの洗礼、葬儀、結婚式等を担当し、宣教師の右腕として活躍した。そのお世話になった人は数知れず、今でも地元の人に「池上先生」として親しまれている。

殉教した人たちの列福申請

を教皇に提出、以来、関係者の努力と縁の地の信者たちの熱意でようやく列福への見通しが立ってきた。現在は、列聖省枢機卿委員会による最終審議と教皇の裁可待ちの状態、早ければ来年の秋にも列福式が日本で開催される。

この日の会議の中で列福にかかわる現状を報告した郡山司教は、薩摩の殉教者レオ七右衛門の列福を祈る「川内殉教祭」の盛り上

川内殉教祭

2006年 11月19日(日)

場所 川内カトリック教会

●1時 講演

「薩摩の殉教者 レオ税所七右衛門」
—ドミニコ会士の伴侶、善にむかって勇氣あるレオン(獅子)—

講師 長崎純心大学
Sr.片岡 留美子

●2時 ミサ

●3時 巡礼

京泊口ザリオの丘へ



薩摩の殉教祭
レオ税所七右衛門

お問い合わせ TEL 0996-22-3738
川内カトリック教会 FAX 0996-22-4654

65キロ徒歩の巡礼に挑戦

11月24日〜26日に德之島教会

德之島地区教会(主任司祭・福岡英雄神父)では、十一月二十四日(金)から二十六日(日)にかけて島内にある十か所の教会を徒歩で巡る島内巡礼を計画している。

復活祭とクリスマス、これに島内巡礼を加えた三つが全島の信者が一堂に会する島の大きな行事。しか

げと列福式への教区の取り組み方について司祭たちに意見を求めた。

司祭たちからは「川内殉教祭」は一九八五年から教区主催という形で実施されてきてはいるものの、実質的に川内教会に任せきりになっていったとの反省が多く、これを機会に大勢の信者が参加し、その列福を祈るようにするべきとの意見で一致した。司祭たちは今

に岡前教会を出発し、三日がかりで平土野、面縄、亀津、下久志、池間、母間、花徳、轟と巡り、ミサがささげられる目的地・山教会を目指す。宿泊には訪問先の教会を利用し、寝袋や簡単な寝具を持ち込むという。

「感謝の道」をテーマに歩みを進める德之島の信者たちが、全行程六十五キロの巡礼でその目的が達せられるよう教区民皆で祈り、支えたいものである。

教区修道女連盟鹿兒島地区が研修会

教区修道女連盟鹿兒島地区は十月一日(日)鹿兒島純心女子短期大学で今年度二度目となる研修会を開催した。今回講師に招いたのはイエズス会の菅原裕二神父で、現在グレゴリアン大学(ローマ)と上智大学で教会法の講義を担当している。

菅原神父は「現代における奉獻生活と共同生活」のテーマのもと、奉獻生活の概念、共同生活における交わりと許し、現代社会への共同生活の証について情熱的にまたユーモアを交えて話した。

集まった会員たち約七十人は有意義な講話を聞き、またその後のミサで研修会の恵みが大きく実っていくことを祈り感謝のうちに散会した。

YET!

携帯電話を持つことになって数年が経つ。今では携帯電話は友にな

なったが、当時は持つことにはかなり抵抗があった。「誰も彼もが持ちやがって...」の思いがあったからだ。が、それを友人の「みんなが持つ。だからお前も持つんだよ」の一言に倅に納得させられ、こんなことになってしまった。そんな自分にガッカリ。暫く前までは同様の抵抗心はインターネットに向けていた。パソコンなんて金持ちの道楽、研究者だけが利用すればいい、「おたく」と呼ばれる引きこもりの人たちの友。インターネットをそんな風に捉えていたからである。「だから教会のホームページなんて...」そんな努力、他で使った方が有効だ。とも... テレビでニューヨークで同性愛者のため働いている牧師さんが紹介された。変な興味心からその番組を見たのだが、その牧師さんは言った。「彼ら同性愛者を異常だと言わないで欲しい。彼らは同性しか愛せない病にかかっている。だから私はこの小さな人々のために働いている」と。▼パソコンやインターネットに対しても友人のあの一言から得た同じような種類の納得を始めてはいるのだが、まだ、友人の域までは達していない。でもまあ、それでも牧師さんが言うように「その世界の中に長くいる人たちのための友」とは捉えられるようにしたいと思いはじめている。



口からはまだ島口が

お久しぶりです!

アメリカから S・ニコラス神父

十月中頃、「こんにちは」とヒョッコリ教区本部を訪ねて来られたのはS・ニコラス神父(コンベンツァル会)。一九七四年に来日し、日本語習得後一九七六年から二〇〇一年まで奄美大島での宣教に尽力していた。現在はアメリカはバッファローで百人あまりの教会を任されているという。

今回の鹿児島訪問は、今年の春、体調を崩し入院・手術した神父に管区長が「休暇を取るように」と勧め、「それならば日本で

司教執務 室 便り

「日本の教会ってナンにもないんだなあ。」今回、カナダ、ドイツ、ローマを回っての一番強い印象がこれ。海外を巡礼した人には、今更言うまでもないことだとは思いますが、あちらでは、巡礼教会と名のつくところはどこも人で一杯。これまで感想だと、「さすがにすごいなあ」だけ。しかし今回は、なぜか、足元の教会の姿があまりにも静かで、ひとけ人気がないことにこのほか気づかされて、ため息が出るほどの驚きを禁じえなかった。

東洋の使徒ザビエル日

ハズ・ハズ・ハズ!

と、ザビエル記念聖堂は、日本はおろか、世界各地からの巡礼者で賑わうハズ。当然、ザビエル様の聖遺物の前でローソクを捧げて祈った後は、ザビエル様にちなむ様々なグッズを買い求め、鹿児島の名を世界に知らせてく

薩摩の殉教者

レオ税所七右衛門⑥

レオの墓

11月17日の朝、シモン・ディアスの家でのミサが終わる頃、レオの殉教の知らせが届いた。

レオの遺体は、役人たちによって埋葬されたが、二日後の夜、信者たちによって修道院の中庭に移された。その後ドミニコ会士に薩摩からの退去命令が出されたため、レオの遺体も長崎へ搬送された。代官村山等安の寄進した土地(現在の勝山小学校)にサント・ドミンゴ教会が建てられたため、その中に遺体は納められた。しかし徳川家康の禁教令のためレオの遺体は1614年10月、マニラへ移され、第二次世界大戦までマニラのサント・ドミンゴ教会に安置されていたが、戦時中に行方不明となった。

+KABAYAN SEKSIYON+ "Pakipagtipan kay Noe"

Ipagpapatuloy natin ang pagtalakay tungkol sa sunod-sunod na pagpahayag ng Diyos. Sa buwan na ito ang tatalakayin ko ay ang tungkol sa "Pakipagtipan ng Diyos kay Noe". Pagkatapos na pag-isahin ang buong sangkatauhan na nadurog ng kasalanan, gumawa kaagad ng hakbang ang Diyos, bahagi sa bahagi na iligtas ang sangkatauhan. Ang pakipagtipan kay Noe nang pagkatapos ng baha ay nagbibigay kahulugan sa paninindigan ng ekonimiyang mapangyari patungo sa mga "bansa", sa madaling sabihin, patungo sa sangkatauhan, "sa kanilang lupain" sa bawat isa sa sariling wika, sa kanilang pamilya at sa kanilang bansa".

Ang bendisyon ng Diyos kay Noe at sa buong sangkatauhan ay nagsisilbing paliwanag sa naunang pangako. Nangangahulugan na ang pakikipagtipan ng Diyos sa sangkatauhan at sa lahat ng galing sa Barko na may malasakit ang Diyos sa lahat ng ginagawa ng mga tao: ang kanilang kultura, mga imbensyon, at matuwid na mga ambisyon.

Ang pakipagtipan kay Noe ay namalagi na may lakas noon sa panahon ng mga Hentiles, hanggan sa pandaigdigang pagpahayag ng Ebanghelyo.

Binigyan galang ng banal na kasulatan ang ilang mga dakilang pigura sa gitna ng mga Hentiles: Abel, ang matuwid, ang haring-pari na si Melkisedek - ang pigura ni Kristo, at ang mga mabubuting tao, "Noe, Daniel, at si Job".

Hindi lamang ang kaligtasan ng mga kaluluwa ang hangad ng Diyos: kundi sa pamamagitan ng ma panlikhang gawa ng sangkatauhan, binibigyang-kayahan niya ang mga tao na umunlad sa kamalayan at responsabilidad at inihanda sila sa pakikiisa sa kanya sa pamamagitan ng Espiritu Santo.

Kaya tayo rin ay inaanyayahan na mabuhay ng matuwid at mabuti sunod sa pakipagtipan ng Diyos kay Noe, habang naghihintay para kay Kristo, na "pagkaisahin ang lahat ng anak ng Diyos na hiwalay sa ibang bansa".

レオ七右衛門の 列福を求める祈り

父なる神よ▼救いのみ業にあずからせるため、あなたがお招きになったレオ七右衛門は、信仰の光に照らされて恵みの時を知り、殉教者としていさぎよく処刑されることを望み、あなたの招きに答えました。

殉教者ゆかりの地で信仰に召されたわたしたちが、かれにならって恵みの時を

知り、喜びをもってあなたの国を証していくことができるようお助けください。

レオ七右衛門を福者の列に加えて世界に示し、その取り次ぎによって多くの人々に救いの恵みが与えられますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン

殉教者の元后聖マリア▼わたしたちのために祈りください。

芦花部教会が化粧直し

大熊小教区壮年会が奉仕作業

芦花部教会のペンキが剥げかかった壁については数年来の懸案でした。しかし芦花部教会の信徒は高齢化と少教化で、自分たちの教会だけではその問題を解決することは困難でした。そこで九月中旬から十月初旬にかけて大熊小教区の壮年会が奉仕作業で、塗装しました。大熊、浦上の壮年たちの活躍で由緒ある聖堂は白亜の殿堂に変容です。

芦花部教会は一九二九年に献堂され「聖霊」に奉献されています。「奄美大島の教会の中で、戦前の姿をほぼ原形のまま残している教会」と奄美福音宣教百周年記念誌に載っています。また思い出の写真集「奄美群島の十字架達」とを出版している未信者の方が「床の市松模様の組板はさすが教会建築だと思われる。末長く保存されるべき



建物」とも記しています。台風や火災、戦災、迫害等に耐えた歴史ある聖堂を神の家、祈りの家として末長く守っていききたいものです。(通信員 平 三 国)

新風 「三子の魂百まで」?

「三子の魂百まで」ということわざがあります。それは、幼い時の性格は一生消えない、ということだそうです。科学的な説明も最近なされています。

人間の脳には、古皮質と新皮質があり、乳児のときに抱きしめられたり、語り掛けられたり、微笑みかけられたりすると健全に成長するそうです。特に頭のいい子供を望むなら、新皮質に覆われている前頭葉にある前頭前野に刺激を与えることです。どうしたら刺激が与えられるかという、赤ちゃんを抱っこして、かわいがることです。子供の新皮質は4分の1までお母さんのおなかの中で作られ、残りは生まれてから作られるそうです。赤ちゃんはかわいがられると喜びます。そうする

と、刺激がカルシウムを押し出し、シナプス(神経細胞と神経細胞または、他の細胞との接続関係およびその接続部の称)の前列にあるアミノ酸の一つである物質が飛び出し、脳に亀裂が入るそうです。この物質が電流に変わり次の細胞に流れ込んでいく、この仕組みを記憶というそうです。喜ぶ、刺激、物質の破裂、脳細胞の亀裂、これらを繰り返すと3歳までに記憶が65%脳に入力されるそうです。つまり、私たちの記憶している事柄の65%は3歳までに習得されたものであるともいえます。逆に、乳児期の刺激の原因が、恐怖であったり、不安であったりすると記憶が65%に満たなくなる、つまり、脳細胞が未発達にとどまるということになります。(この内容は「生命尊重ニュース」9月号 Vol.23 No.260・P6から引用しました。)(H・N)

汗を流しザビエルを知った一日 伊集院「宇治城」に徒歩巡礼

十月一日(日)、聖フランシスコ・ザビエルが島津貴久に宣教の許可をもらったことを記念する「伊集院徒歩巡礼」が青年たちの企画で行われ、秋晴れの中を郡山司教と共に歩き、祈り、歌い、共にミサをささげて聖師を思い起こす一日になった。



強い日差しの中歩みを進める巡礼団

代までの二十三人が徒歩巡礼に参加、伊集院城山公園でのミサは車で駆けつけた人も加わって四十人ほどでささげられた。今回のテーマ「知(種をまくために)」は「ザビエルが蒔いた種を自分たちも受け継ぎ時いて行くために何を知り、周りにどう知らせていくべきか」との青年たちの祈りのテーマが込められていた。

一五四九年九月二十九日(聖ミカエルの祝日)のザビエルと貴久の会見を記念して行われる徒歩巡礼を青年たちが主催するようになって今年で五回目。九州地区の仲間呼びかけなど参加者を増やす努力をしてきた。今年も青年以外にも呼びかけたところ、中学から七十歳

朝七時にザビエル教会を出発した巡礼団は、強い日差しが照りつける中、ミカン坂を上り、起伏の多い道を聖歌や祈りを唱えながら歩続け全員無事に六時間半で二十四キロの道を歩ききった。城山公園でのミサは共

に歩いた郡山司教とアン神父を囲んで芝生の上に座ってささげられた。郡山司教は「このように体を使って行う目に見える信心を大切にしたい。若い人たちの高まりを大事にして、この巡礼をもっと盛り上げよう」と参加者たちを励ました。ミサ後はその場で弁当をひろげ、温かい雰囲気での交流がもたれた。また大阪から参加した平尾ちえこさんからアジアユースデー参

希望の証人に

川内教会で堅信式

十月八日(日)川内教会で堅信式があり中学生を中心に七人がその恵みに浴した。福音朗読後説教した郡山司教は、世の中で一番難しい言葉は「ハイ」という返事。特に身近な人からの問いかけにそのように返事

加の感想等の発表も行われた。参加者からは「疲れたが、いろいろと考え黙想できるいい巡礼だった」「聖歌を歌いながら、歩きながら、お喋りしながら、祈りながら、とても楽しかった」「もったいなく思っていたが、意外に大丈夫だった。来年は知り合いを誘って参加したい」との感想が聞かれた。今回の徒歩巡礼の様子



希望の証人になる人々

は、青年会のホームページ上に掲示板を通して、リアルタイムで画像と共に実況された。これは、「この掲示板を通して、遠くにいたり都合で参加できない人も一緒に参加できた」との青年たちの思いで計画されたもので、実際、長崎や宮崎、大阪の青年からの応援メッセージが寄せられた。青年会ホームページ(<http://nzrxnrx.jp/dejannu>)

十人の信者が共に祈りをささげる静かな時を過ごした。同集いは、教区ではこれまでに数回、名瀬聖心教会で開かれてきたが本土地区で開かれたのは今回が初めて。会場となったザビエル教会に集まった信者たちは、ペトロ神父の導きで聖母マリアへの祈りをささげ、その後のミサにあずかった。

短信

▼パドレ・ピオの集い
九月二十二日(金)午後、テレフォンサービスで有名なベトロ・ボン・エッセン神父(カプチン・フランシスコ修道会)が、鹿児島カテドラルで「パドレ・ピオの集い」を開き、約四

するのには難しい。これは神さまからのものでも同じ。イエズスを一番にして、その問いかけに「ハイ」と答えられるように訓練している。そしてこの信者だけのアイデンティティを確立して、希望の証人になろうとメッセージを贈った。

▼一日のマリアポリ
十月十五日(日)教区本部で愛の実践を分かち合い励まし合うフォコラレ運動「一日のマリアポリ」が開かれ、教区初の大会に百人余が参加した。

▼ザビエルの道巡礼コンサート
「ザビエル生誕五百年記念教会コンサートツアー」の初日にあたる十月十一日(水)夜、鹿児島カテドラルで、グレゴリオ聖歌とスペイン独自のモサラベ聖歌のコンサートがあった。主催はNPO法人おおいだ豊後ルネッサンスで、この日のコンサートを皮切りに平戸、大分、山口などザビエル縁の地で開催された。

11月 今月の暦

- 1日(水) 諸聖人
- 2日(木) 死者の日
- 5日(日) 年間第三十一主日
- 8日(水) パコ神父叙階記念日(一九七五年)
- 9日(木) ラテラン教会の献堂
- ▼メニッヒ神父霊名(テヨドル)
- ▼ガブリエル神父命日(一九七八年)
- 12日(日) 年間第三十二主日
- ▼枕崎・加世田教会献堂五十周年記念式典・14時・加世田教会
- 19日(日) 年間第三十三主日
- ▼聖書週間(26日まで)

神の愛を知り、神の心を受け取るために、わたしたちは新約聖書と旧約聖書を神のことばとして読み、大切にします。「聖書週間」は、すべての人、とくに信者が、この聖書に「より関心をもち、親しみ、神の心に生きる」ようになるための週間です。各教区では、聖書への関心を高め、より親しむために、講演会、研修会、展示会などの催しが計画されます。このような催しに進んで参加するとともに、自分でも積極的に聖書に近づきましょう。たとえば、毎日欠かさず聖書を一章ずつ読む方法や、ミサにあずかれなくても、このミサの聖書朗読の当日分を毎日読む方法も勧められています。

▼川内殉教祭・川内教会・13時
20日(月) 三木 巖神父命日(二〇〇〇年)
26日(日) 王であるキリスト
30日(木) 聖アンデレ使徒

鹿児島市民クリスマス

テーマ:愛 善き隣人になるために
日時:12月10日(日) 14時~16時
場所:鹿児島カテドラル・ザビエル記念聖堂
講演:本田哲郎神父(フランシスコ会)
音楽:フォントイヌ鹿児島
入場料:千円(中学生以下無料)

加世田・枕崎教会献堂50周年の「家内」
日時:11月12日(日)
場所:枕崎教会
祝賀会 午後3時

門田 明氏の 鹿児島とキリスト教⑦ ザビエル、日本渡航を 決心する

先号では、知り合いのポルトガル人から日本のことを聞き、ザビエルが日本に強い興味を持つようになったことを述べた。

その後マラッカで鹿児島人ヤジロウに出会い、日本に対する関心はますます激しく抑えがたいものになり、ついに日本に行くことを決心する。「私は日本に滞在したことがある信頼できる多くのことから、日本の島じまは信仰を広めるためにきわめてよく整えられたところであるという、

たくさん情報を入手いたしました。それで私はこの地方へ行くのが神へのより大なる奉仕になるかどうか、至聖なる御旨を私自身の心のうちに感じさせてくださいますように、主なる神に大きな恩恵をお願いすることにしました。神はそれをお喜びになり、私が日本へ行くことは神への奉仕になると私の心のうちに感じる恩恵をお与えになりました。」(書簡第83・マラッカ発ポルトガル国王宛)

一五四八年五月二十日、聖霊降臨の祝日、ヤジロウは洗礼を受け、キリスト教徒となった。霊名はパウロ。日本人最初のキリスト教徒である。この鹿児島人パウロ・ヤジロウがザビエルを鹿児島に案内し、キリスト教の日本渡来に貢献したことを忘れてはならない。

さて当時マラッカから日本に渡航することはきわめて危険なことであった。ザビエル自身、イエズス会員に宛てた書簡の中でこの危険をこう説明している。「今まさに向かってゆくこれらの地域は、数々の困難と死の危険にさらされているからです。日本への渡航はたいへん危険で、大暴風雨、たくさんの浅瀬、無数の海賊の危険があり、とくに暴風雨のために三隻のうち二隻が到着すれば、大成功とされているほどです。」

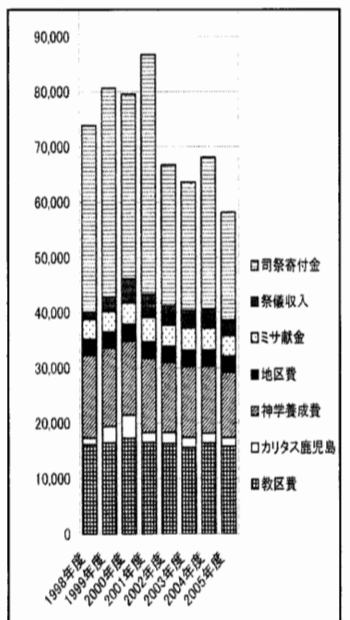
しかし、この危険を恐れることもなく、彼は一五四九年の洗礼者ヨハネの祝日(六月二十四日)日本に向けてマラッカを出航したのである。(玉里教会信徒・ザビエル上陸顕彰会会長)

シリーズ「教区財政を考える」 教区会計収入の部 科目説明

毎年、七月に各小教区の主任司祭と財務委員宛に前年度の教区全体の収支計算書を送付します。それには、教区の会計担当として、公表する義務があると同時に、小教区財務委員の方々に通して、信者の皆さんにその中身を知って欲しいという願いがあります。その思いをより効果的に実現するために、今回からシリーズで皆さんにお伝えしたいと思います。

地区費 鹿兒島教区は教区司祭、レデンプトール会司祭、ザベリオ会司祭、高松教区司祭の司祭が各小教区を担当しています。かつては、鹿兒島地区(教区司祭)、大隈地区(ザベリオ会)、北薩地区、徳之島地区(レデンプトール会)、奄美大島地区(コンベンツアル会)と五つに分けて、各修道会に各地区の宣教司祭が委託されていました。しかし、事情が変わり現在では各司祭が各地区に入り混じって宣教司祭にあたっています。従って、ここでいうところの地区費とは、教区司祭が勤めている

小教区と始良、玉里、大熊種子島、小宿の各小教区が納める分担金のことです。負担金の基準はかつての地区によって異なりますが、上記の教区司祭が勤めている小教区では維持費収入の一〇%になっています。ただし、奄美大島の教区司祭担当と大隈、小宿小教区は大島地区会計へ収めます。ミサ献金分納金 地区費と同じ性格のもので、ただし、負担基準は五〇%となっています。神学生養成費 鹿兒島教区司祭の養成に關するすべての費用です。ただし、鹿兒島教区で働いて下さっている各修道会の司祭養成の為に一部使われています。この献金は教区指定献金として一九九三年四月から実施されているもので



す。それは、福岡聖ルピス大神学院の運営維持のために信者数で算出する教区分担金の要請がなされたためです。この基本分担金に在学神学生の養成費が加算されます。さらに、この献金から司祭召命の発掘と促進のため、またベトナム人神学生の渡航費用や生活費などにも使われています。カリタス鹿兒島献金 教区指定献金として一九九五年十二月から実施されて

文芸

俳句 (思川俳句会作品)

純心学園 山頭信子
朝礼の賛美歌聞こゆ萩の庭
いわし雲画用紙はみ出し開聞岳
(評)二句とも自然詠の美しさがあり、特に開聞岳が浮かぶ句

出水 沖 弘子
見舞ひ来て笑顔の痛し赤とんぼ
鹿兒島 本城 愛
鉢植の笹の影絵や障子ごし

純心学園 川上 和
すす虫の音色もさゆる月夜かな
鹿兒島 春山マリ子
人と言う字見て気重くなりけり

出水 遠竹睦郎
紅葉の色美しき峽の山
鹿兒島 徳水ノブ子
肩叩く児童に感謝の運動会

阿久根 中津濱フサエ
すす虫のさわやかなりし秋の月

短歌 (思川短歌会作品)

純心学園 田村鏡子
子だぬきは恐れを知らずついでくる
鹿兒島 龍門司真人
虎落笛矢岳の駅に氷雨呼ぶ

阿久根 窪田ヒサエ
強き自我折れたる日なりひたすらに
神のみ慕ひ夕べ祈らん
(評)只管に神を慕う作者の日々が表
白され祈りの尊さを感じさせる歌

純心学園 川上 和
大浦のステンドグラス色淡くサンタ
マリアのみ顔を照らす

阿久根 北園しのぶ
乳色の霧流るるか北の国静けき夜半
に故郷想う
明光学園 森 博伸
野の径の草の葉かげに手折りしは妻
へみやげのリンドウの花

奄美 林 常広
悲しまむ心の病訪われぬるわれも人

詩

奄美 林 明子
ありんこが歩いていけるよ一歩ずつ
みだしてみようしつばいしたつて

鹿兒島 前田儀子
「はらわたにしたたりわたる粥の味」
漱石の句思ひ夏の粥煮る

阿久根 中津濱フサエ
満月を仰ぎて捧ぐ永久の愛弱き我が
身をひたすら祈る

鹿兒島 春山マリ子
生きた事それが幸せ続く道精一杯の
お礼を述べる

阿久根 眞清水 藍
宣教の実りなき悔いまた捧げ今日沈
みゆく夕陽に向かう
鹿兒島 田平新太郎
「旅心」書きあげてみる夢現笑みかける
顔見愛しけれ

声

鹿兒島の教会の未来

ある日ある方話から
鹿兒島中央駅でタクシ
ーに乗り「ザビエルまでお
願ひします」。運転手さん
「ハイ、分かりました」。で
も皆さん着いた所はどこだ
と思いませんか。何とそれは、
とあるホテル。ザビエルが
ザビエル教会であることは
私たち信者だけのこと。鹿
兒島の観光の一翼を担って
いるはずの運転手さんの
「ザビエル」は「ホテル」
のこと。

以上の説明は一九九七
年五月十二日発効の宗教法
人カトリック鹿兒島司教区
「資金収支計算書勘定科目
説明書」(小教区用)に準
拠しながら、現状を報告し
たものです。
(教区会計 中野裕明)

天文館からザビエル教
会を目指して歩くと、白い
大理石のザビエル様が右手
を高く挙げて迎える。西田
橋からザビエル教会を目指
すと、やがてルルドのマリ
ア様の微笑みが招く。それ
は数年前までのこと。今は、
味も素っ気もないコンクリ

ートの壁が威圧するかのよ
うに立っている。
巡礼者がザビエル教会
を訪れ、記念になる物を売
店へ。でもザビエルグッズ
は何もない。少しあつても
高い。ローマでも、ルルド
でもサンチャゴ・デ・コン
ポステーラでも、そしてフ
アチマでも、その地のグッ
ズが安く求められ、訪れた
ことを思い出し、信仰の
「よすが」の一つとする。
二〇〇五年度受洗者数
は百二十三、亡くなられ
た信者さんは百三十六人
(教区報に掲載)。何年か経
つたら鹿兒島の人々が「カト
リック教会はどこへ行つて
しまったの」と言うでしょ
う。
皆さん、本当にこのま
までよいのでしょうか。
「よい」と思う人は、神様
の前で手を挙げる勇気があ
りますか。
考えさせられるお話で
したので紹介しました。

青年会のHPにいらっしやーい!

鹿兒島教区の青年会のホームページ「DE☆JAM」がリニューアルしました。以前はパソコンからしか見られませんでした、「青年がいつでもどこでも見られて、繋がっていけるように」と、携帯電話からも見られるようになってます。分かち合いや集い等イベントの予定、掲示板や活動報告のページやアルバムなど、盛りだくさんなので、ぜひアクセスしてください!※青年会では鹿兒島地区だけでなく他の地区の青年たちとも連携して行きたいと思っています。各地の青年やイベントの情報などお寄せください。



アドレスはこちら <http://mz.minx.jp/dejamu>

一緒に聖歌を歌いませんか?

ザビエル教会のクリスマス深夜ミサに向けて、青年有志で聖歌の練習を行っています。毎月第一と第三土曜日午後七時からザビエル教会で練習をしていますので、興味のある方はぜひご連絡ください。

連絡はザビエル教会：小郷亜紀子

大口明光学園中学校・高等学校入試日程

《中学校》	前期	平成19年1月7日(日)
	後期	平成19年2月4日(日)
《高等学校》	****	平成19年2月2日(金)
問合せ先	tel0995(22)0609 〆0995(22)0642	
	〒895-2511 大口市里1830	
学園案内	http://www.okuchimeiko.ac.jp	
	いつでもお越しください。ご案内いたします。	

